

ITU-T SG5 会合 (5/25-29) 全体結果報告

資料 2-伝-2-SG5-全報 全体結果報告

(情報通信技術分科会 ITU-T部会 委員会 様式 6)

ITU-T 会合結果報告

(会合名: ITU-T SG5 第2回全体会合)

平成 21 年 9 月 15 日

開催期間	平成21年5月25日～21年5月29日	開催地	ジュネーブ, スイス
出席国及び出席機関: 29ヶ国、2機関から 79名 及びITU-T事務局3名			
日本からの出席者(所属): 岡崎(総務省)／端谷(富士通)／並河(日立)／渡辺, 関口(NICT)／秋山, 朝倉, 折口, 服部, 前田(NTT)			
寄書(C)	22件(うち日本から 2件)	臨時文書(TD)	128件

勧告案(Recommendation)等の承認(Approval)	新規	改訂(revision)	付属書(Annex)	改正(Amendment)	訂正(Corrigendum)
勧告案の合意(Consent)	件	件	件	件	件
勧告案の凍結(Determination)	件	件	件	件	件
勧告案の決定(Decision)	件	件	件	件	件

付録(Appendix)等の承認(Agreement)	2件(修正)	勧告の削除(Deletion)	件
-----------------------------	--------	-----------------	---

(注) 詳細は後述のこと。

会合の結果概要：

今回の会合は、09-12会期の第2回目であり、ICTと気候変動を扱うWP3が新規に加わり審議が行われた。また、各課題のなかでは、前回会合で提示された活動計画に基づいて、新規課題や継続課題の議論が行われた。

1) WP1の概要

WP1では、過電圧、安全の課題について審議を行っている。重点課題の検討状況は以下の通りである。

- ・ 課題4 K. 44等の改定に関わるEtherポートの試験条件やその他の過電圧関連勧告に対して、試験規定をIECの規格と整合性をチェックしていくことが確認された。
- ・ 課題5 今会合では、K. 71「宅内のアンテナ設備の防護」の改定ポイントと接地線の太さの規定について審議された。今後の勧告K. 46「メタリック通信線の誘導雷への対策」修正も検討課題となった。
- ・ 課題13 K. ocp「自己復旧形過電流防護素子」の草案が提示され、関連の寄書と共に審議が行われた。K. ocpをK. 30と置き換える方向で草案を作成し、K. ocpの成立後にK. 30を削除する方針が確認された。

2) WP2の概要

WP2ではエミッション・イミュニティ、電磁ばく露等についての課題の審議を行っている。重点課題の検討状況は以下の通りである。

- ・ 課題2 K. 60「無線サービスへの妨害を最小にするための有線通信網のエミッションレベルと試験法」についてScopeへの文章追加が了承された。今会期これ以上の修正は行わず、今後はK. mit「次世代アクセスシステムに対する対策方法」に重点を置くこととなった。
- ・ 課題3 勧告K. 52「電磁界への人体曝露の制限値に適合するためのガイダンス」の誤記の修正や新勧告K. guideへの記載項目（電界強度の時間平均法等）に関する審議が実施された。
- ・ 課題8 勧告草案K. imm_bb「広帯域妨害波に対するホームネットワークサービスのイミュニティ」の初版が提出され、今後、内容を精査していくことが了承された。また、IEC61000-2-5に対してホームネットワーク環境に対してキーとなる問題を今後検討することとなった。
- ・ 課題12 K. 43「通信装置のイミュニティ規程」の改定については、イミュニティ試験周波数を1GHz以上に引き上げる案が合意された。またK. highについても、エディトリアルな修正を加えて改定草案がコンセントされた(AAP手続)。
- ・ 課題15 電磁波セキュリティの新勧告K. hpemが、日本の提案に沿った内容でコンセントされた。

3) WP3の概要

今会合では、2009年4月に開催されたTSAG会合の結果を受けて、ICTと気候変動に関する課題を扱うWP3を立ち上げるとともに、気候変動に関する新課題の課題記述テキストを完成させ、新体制を確立することを目的に開催された。オープニングプレナリーで、TSAG合意の新しいSG5の「環境と気候変動」のミッションを確認するとともに、WP3議長にBTのKeith Dickerson氏を指名し、SG承認を得た。

- ・ 今回、提出審議された気候変動に関する寄書は、6件（うち日本からは1件）である。
- ・ 新課題構成として、以下の5課題が合意された。課題記述の詳細文章はTD211 Rev1としてまとめられている。

- 課題17/5: Coordination and Planning of ICT&CC related standardization
- 課題18/5: Methodology of environmental impact assessment of ICT
- 課題19/5: Power feeding systems
- 課題20/5: Data collection for Energy Efficiency for ICTs over the lifecycle
- 課題21/5: Environmental protection and recycling of ICT equipments/facilities

・ 新WP3のマネジメント構成として役職者が指名され、日本からはWP副議長に折口（NTT）、Q18/5のアソシエイトラポータに端谷（富士通）、Q19/5ラポータに朝倉（NTT）が選任され、クロージングプレナリーでの正式承認を得た。（他国のラポータ／アソシエイトラポータは【参考2】を参照。）

4) その他

- ・ WTSA-08で採択されたResolution 72を踏まえ、EMFの人体曝露に関するテクニカルセッションが開催された。発展途上国から求められている測定法に関するトピックスと開発途上国での現状の紹介が主体となった。
- ・ 次回会合については、10月12-16日に全体会合をジュネーブで開催する。

今後の関係会合の予定

会 合 名	開催期間	開催地	会 合 内 容
全体会合	H21.10.12-16(予定)	ジュネーブ(予定)	第3回会合

全体会合、又は、WP 会合	H22.4.12-16	ブエノスアイレス (予定)	第4回会合
—	—	—	—

(注) 今後の関係会合の予定の欄には、次回の全体会合に加え、ラポータ会合、他機関との合同会合等を含む。

勧告案の合意(Consent)

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号	関連課題番号
K.43	改訂	Immunity requirements for telecommunication equipment	TD.163rev1	Q.12
K.51	改訂	Safety criteria for telecommunication equipment	TD.147rev1	Q.11
K.80 (K.high)	新規	EMC requirements for telecommunication network equipment (1 GHz – 6 GHz)	TD.164rev2	Q.12
K.81 (K.HEMP)	新規	HPEM immunity guide for telecommunication systems	TD.146rev2	Q.15

勧告案の凍結(Determination)

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号	関連課題番号

勧告案の決定(Decision)

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号	関連課題番号

(注) 種別には新規、改訂(revision)、付属書(Annex)、改正(Amendment)、訂正(Corrigendum)の別を記載。

付録(Appendix)等の同意(Agreement)

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号	関連課題番号
K.52	Corrigendum (正誤表)	Guidance on complying with limits for human exposure to electromagnetic fields	TD195	Q3
K.60	Amendment (追加)	Emission levels and test methods for wireline telecommunication networks to minimize electromagnetic disturbance of radio services	TD186	Q2
K.70	Amendment (修正)	Mitigation techniques to limit human exposure to EMFs in the vicinity of radiocommunication stations	TD173	Q3

(注) 種別には付録(Appendix)、補足文書(Supplement)、インプリメンターズ ガイド(Implementers' guide)、ITU-Tハンドブック(ITU-T Handbook)の別を記載。

勧告の削除(Deletion)

勧告番号	勧告名